

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和8年第5週(ARIのみ第4週)の発生動向

□ 全数報告の感染症 (5週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核2例。3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症1例。
4類感染症：A型肝炎1例。5類感染症：梅毒2例、破傷風1例、百日咳3例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類 結核	宮崎市	0~4歳	女	無症状病原体保有者	なし	
	日向	0~4歳	女	無症状病原体保有者	なし	
3類 腸管出血性大腸菌感染症	日向	40歳代	女	無症状病原体保有者	なし、O55(VT1)	
4類 A型肝炎	延岡	30歳代	男	一	全身倦怠感、発熱、食欲不振、黄疸、肝腫大、肝機能異常	
5類 梅毒	宮崎市	20歳代	女	早期顕症梅毒Ⅰ期	硬性下疳、鼠径部リンパ節腫脹	
	延岡	20歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	硬性下疳、鼠径部リンパ節腫脹	
5類 破傷風	宮崎市	70歳代	女	一	筋肉のこわばり、開口障害、嚥下障害	
	宮崎市	5~9歳	女	一	持続する咳	
		10歳代	女	一	持続する咳、呼吸苦	
		30歳代	男	一	持続する咳	

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は1,452人(定点当たり61.6)で、前週比124%と増加した。なお、前週に比べ増加した疾患は、インフルエンザ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症であった。

また、第4週の急性呼吸器感染症の報告総数は1,840人(定点当たり65.7)で、前週比103%とほぼ横ばいであった。

【インフルエンザ】

報告数1,122人(40.1)で、前週比136%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(47.1)の約0.9倍であった。年齢群別は15歳未満が全体の約7割を占めた。

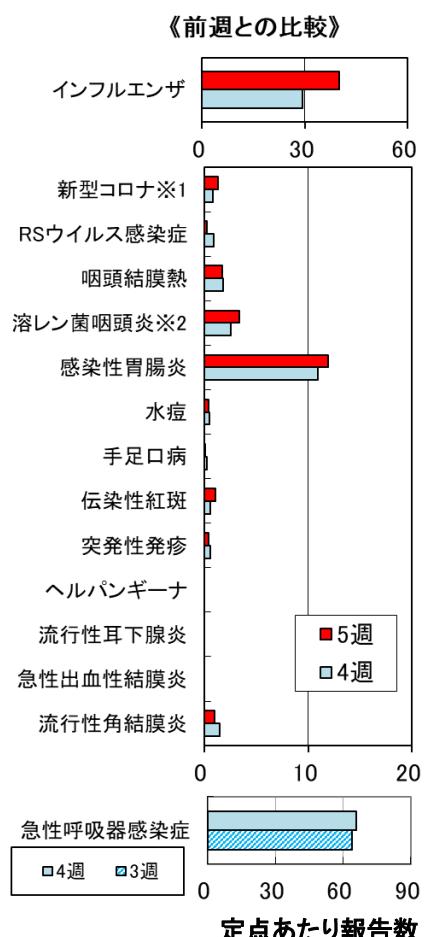
【感染性胃腸炎】

報告数は179人(11.9)で、前週比109%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(10.7)の約1.1倍であった。年齢群別は2歳から3歳が全体の約2割を占めた。

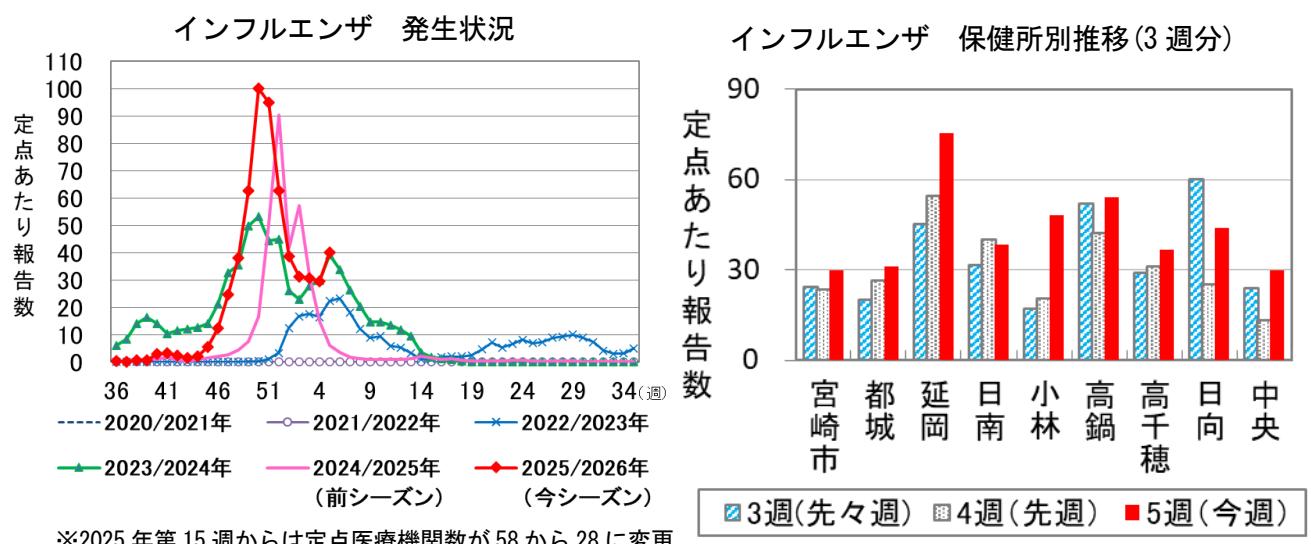
【咽頭結膜熱】

報告数は26人(1.7)で、前週比96%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(0.62)の約2.8倍であった。年齢群別は1歳が全体の約3割を占めた。

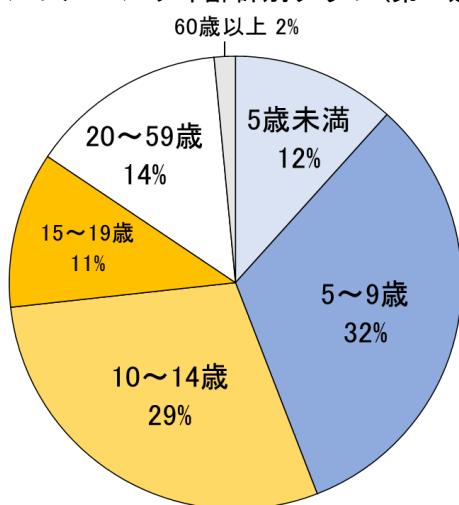
* 新型コロナウイルス感染症流行前5年間(2015~2019)の当該週、前週、後週(計15週)の平均値



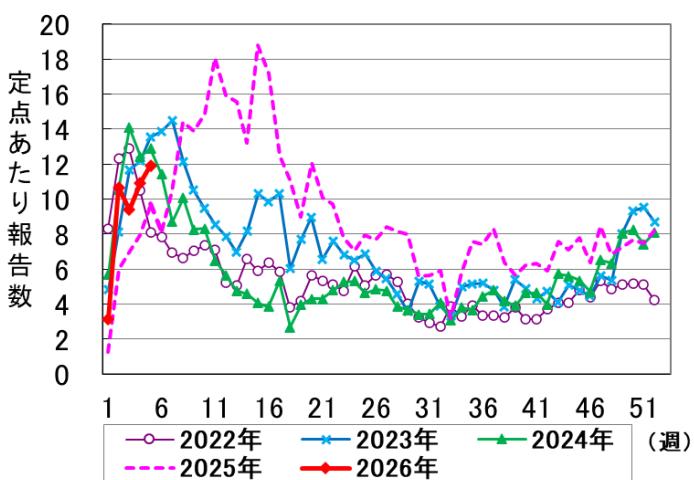
※1 新型コロナウイルス感染症
※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



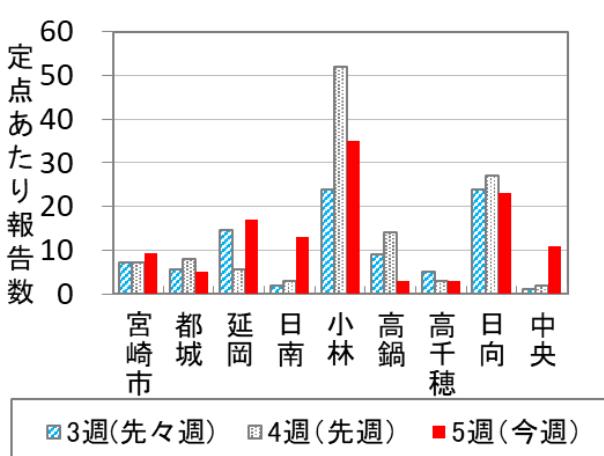
インフルエンザ年齢群別グラフ(第5週)

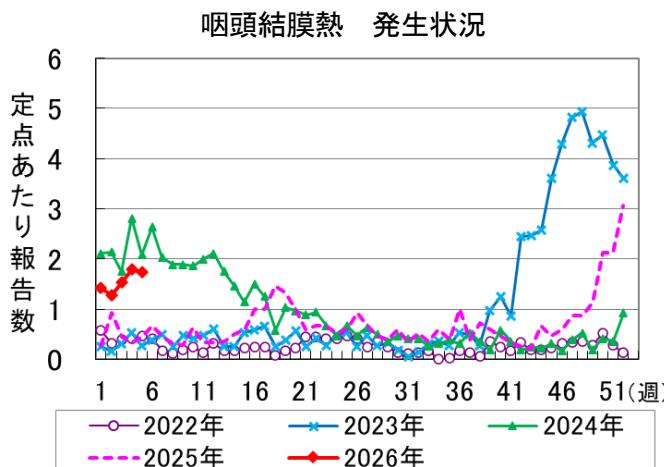


感染性胃腸炎 発生状況

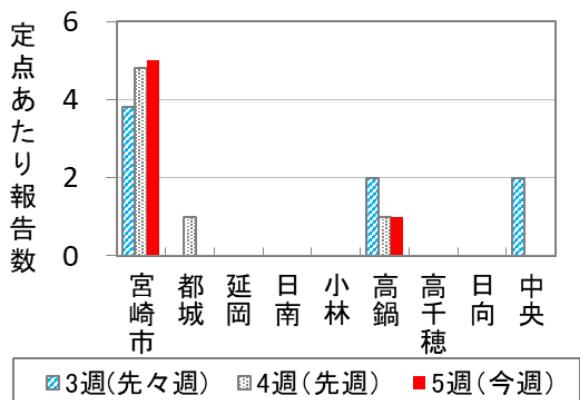


感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)





咽頭結膜熱 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：報告数は1例(定点当たり0.14)で、日向保健所から報告があった。年齢は5～9歳であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	インフルエンザ(29.9)、咽頭結膜熱(5.0)
都城	インフルエンザ(31.3)
延岡	インフルエンザ(75.3)
日南	インフルエンザ(38.5)、水痘(1.0)、伝染性紅斑(2.0)
小林	インフルエンザ(48.0)、感染性胃腸炎(35.0)、水痘(2.0)
高鍋	インフルエンザ(54.0)、伝染性紅斑(4.0)
高千穂	インフルエンザ(36.5)、伝染性紅斑(3.0)
日向	インフルエンザ(44.0)、感染性胃腸炎(23.0)、伝染性紅斑(6.0)
中央	インフルエンザ(30.0)、水痘(1.0)

流行警報レベル開始基準値

- ・インフルエンザ(30)
- ・咽頭結膜熱(3)
- ・感染性胃腸炎(20)
- ・水痘(2)
- ・伝染性紅斑(2)

流行注意報レベル基準値

- ・インフルエンザ(10)
- ・水痘(1)

※流行警報レベル開始基準値、流行注意報レベル基準値は令和6年度まで運用した参考値です。

口病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部）

★急性呼吸器感染症(Acute Respiratory Infection : ARI)

(2026年第4週:1月19日～1月25日搬入分)

検出病原体			検出数
インフルエンザウイルス	A型	AH1pdm09	0
		AH3	1
	B型	ピクトリア系統	5
		山形系統	0
新型コロナウイルス			1
RSウイルス	A型		0
	B型		0
パライフルエンザウイルス	1型		0
	2型		0
	3型		0
	4型		0
ヒトメタニューモウイルス			0
ライノウイルス			1
エンテロウイルス			0
アデノウイルス			0
検出せず※2			7
受付検体数			15

(細菌・ウイルスについては2026年2月2日までに検出分)

★細菌 報告なし

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Parvovirus B19	5～9歳	男	2025.12.08	伝染性紅斑	咽頭ぬぐい液	2026.02.02
Parvovirus B19	5～9歳	男	2025.12.08	伝染性紅斑	咽頭ぬぐい液	2026.01.29
Parvovirus B19	5～9歳	男	2025.12.17	伝染性紅斑	咽頭ぬぐい液	2026.02.02
Parvovirus B19	5～9歳	男	2025.12.22	伝染性紅斑	咽頭ぬぐい液	2026.02.02
Influenza virus B (Victoria Lineage)						2026.02.02
Varicella zoster virus(VZV)	20歳代	女	2026.01.27	水痘、発熱、水疱、丘疹	痂皮	2026.01.28
					全血	2026.01.28
					水疱内液ぬぐい	2026.01.28
Influenza virus A H3*	70歳代	男	2025.12.16	急性気管支炎、38°C	鼻腔ぬぐい液	2026.01.30
Influenza virus A H3*	30歳代	女	2025.12.16	インフルエンザA、38.7°C、頭痛、咽頭痛、気管支炎	鼻腔ぬぐい液	2026.01.30
Influenza virus A H3*	10歳代	男	2025.12.15	インフルエンザA、38.9°C、頭痛、咽頭炎、気管支炎	鼻汁	2026.01.30
Influenza virus A H3*	10歳代	男	2025.12.15	インフルエンザA、37.7°C、頭痛、嘔気、嘔吐、腹痛	鼻汁	2026.01.30
Influenza virus A H3*	10歳代	男	2025.12.23	インフルエンザA、38.4°C、頭痛、鼻汁	鼻腔ぬぐい液	2026.01.30
Influenza virus A H3*	20歳代	男	2025.12.23	インフルエンザA、37.6°C、咽頭痛、咳、痰、鼻汁	鼻腔ぬぐい液	2026.01.30
Influenza virus A H3*	20歳代	男	2025.12.23	急性気管支炎、37.2°C	鼻腔ぬぐい液	2026.01.30
Influenza virus A H3*	20歳代	男	2025.12.23	インフルエンザA、38.6°C、頭痛、咽頭痛、気管支炎	鼻腔ぬぐい液	2026.01.30
Influenza virus A H3*	5～9歳	女	2025.12.22	急性気管支炎、38.8°C、咽頭炎、嘔氣、嘔吐	鼻汁	2026.01.30
Influenza virus A H3*	0～4歳	女	2025.12.22	インフルエンザA、39.2°C、頭痛、咽頭炎、気管支炎	鼻汁	2026.01.30
Influenza virus A H3*	0～4歳	男	2025.12.22	インフルエンザA、39.0°C、咽頭炎	鼻汁	2026.01.30

※ ARI 病原体定点から検出されたウイルスのうち、分離されたウイルスも再掲

+ 全国 2026 年第 4 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	230 例				
3類感染症	細菌性赤痢	5 例	腸管出血性大腸菌感染症	56 例	パラチフス	1 例
4類感染症	E型肝炎	13 例	A型肝炎	2 例	エムポックス	3 例
	つつが虫病	4 例	デング熱	3 例	日本紅斑熱	1 例
	マラリア	1 例	レジオネラ症	28 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	2 例	ウイルス性肝炎	5 例	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	17 例
	急性弛緩性麻痺	2 例	急性脳炎	6 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	34 例	後天性免疫不全症候群	17 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	5 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	44 例	水痘(入院例)	14 例
	梅毒	161 例	播種性クリプトコックス症	1 例	百日咳	225 例
	麻しん	5 例				

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 135%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は、インフルエンザ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は、特になかった。また、急性呼吸器感染症の報告数は前週比 133%と増加した。

インフルエンザの報告数は 63,326 人(16.6)で前週比 147%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(39.5)の約 0.4 倍であった。鹿児島県(35.2)、宮崎県(29.4)、大分県(28.9)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 7 割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 19,741 人(8.6)で前週比 128%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(6.8)の約 1.3 倍であった。群馬県(17.0)、岐阜県(14.2)、東京都(13.1)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 2 歳が全体の約 3 割を占めた。

咽頭結膜熱の報告数は 739 人(0.32)で前週比 145%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.32)の約 1.0 倍であった。宮崎県(1.8)、長崎県(1.6)、島根県(1.4)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 3 歳が全体の約 6 割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015–2019)の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

宮崎県 感染症情報

(41定点医療機関)

2026年 第05週(01月26日～02月01日)

疾病名	第04週	第05週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数 定点当り	822 29.36	1122 40.07	269 29.89	125 31.25	226 75.33	77 38.50	96 48.00	108 54.00	73 36.50	88 44.00
新型コロナ ウイルス感染症	報告数 定点当り	24 0.86	36 1.29	3 0.33	10 2.50	15 5.00	1 0.50	1 0.50	1 0.50	4 2.00	1 0.50
RSウイルス 感染症	報告数 定点当り	13 0.87	3 0.20	1 0.20	1 0.50	1 0.00	1 1.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
咽頭結膜熱	報告数 定点当り	27 1.80	26 1.73	25 5.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	1.00 1.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	報告数 定点当り	38 2.53	50 3.33	17 3.40	14 7.00	5 2.50	5 5.00	1 1.00	3 3.00	1 1.00	1 1.00
感染性胃腸炎	報告数 定点当り	164 10.93	179 11.93	47 9.40	10 5.00	34 17.00	13 13.00	35 35.00	3 3.00	23 3.00	11 23.00
水 痘	報告数 定点当り	7 0.47	6 0.40	1 0.20	1 0.50	1 0.00	1 1.00	2 2.00	0.00 0.00	0.00 0.00	1 1.00
手足口病	報告数 定点当り	4 0.27	1 0.07	1 0.20	0.00 0.00						
伝染性紅斑	報告数 定点当り	8 0.53	16 1.07	1 0.20	0.00 0.00	2 2.00	0.00 0.00	4 4.00	3 3.00	6 6.00	0.00 0.00
突発性発しん	報告数 定点当り	8 0.53	6 0.40	1 0.00	3 0.50	1 1.50	1 1.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	1 1.00
ヘルパンギーナ	報告数 定点当り	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
流行性耳下腺炎	報告数 定点当り	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
急性出血性 結膜炎	報告数 定点当り	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
流行性角結膜炎	報告数 定点当り	9 1.50	6 1.00	4 1.33	1 0.50	1 1.00					
細菌性結膜炎	報告数 定点当り	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
無菌性結膜炎	報告数 定点当り	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
マイコプラズマ 肺炎	報告数 定点当り	1 0.14	1 0.14	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	1 1.00	
クラミジア肺炎	報告数 定点当り	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数 定点当り	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	

2026年 第04週(01月19日～01月25日)

	第03週	第04週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
急性呼吸器 感染症	報告数 定点当り	1789 63.89	1840 65.71	445 49.44	221 55.25	299 99.67	110 55.00	166 83.00	180 90.00	106 53.00	183 91.50
											130 65.00

ARI定点:28、小児科定点:15(ARI定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数 (2026年 第01週～05週 保健所受理分)

2類感染症	結核	7例(2)									
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	3例(1)									
4類感染症	A型肝炎	1例(1)	つつが虫病	2例							
5類感染症	クリプトスボリジウム症	1例	侵襲性肺炎球菌感染症	2例	梅 毒	8例(2)					
	破傷風	1例(1)	百日咳	11例(3)							

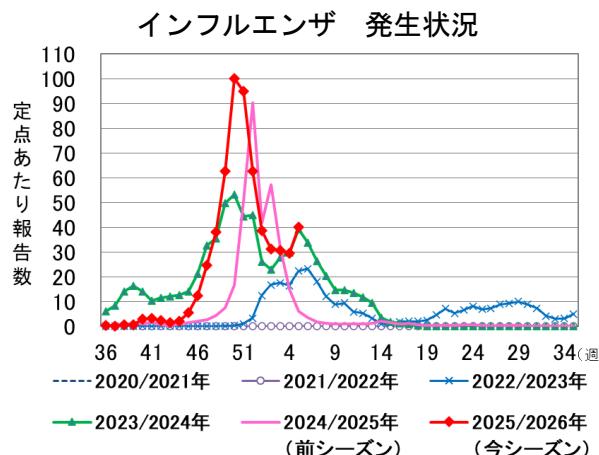
()内は今週届出分、再掲

■ インフルエンザ情報《県内第5週、全国第4週（再掲）》

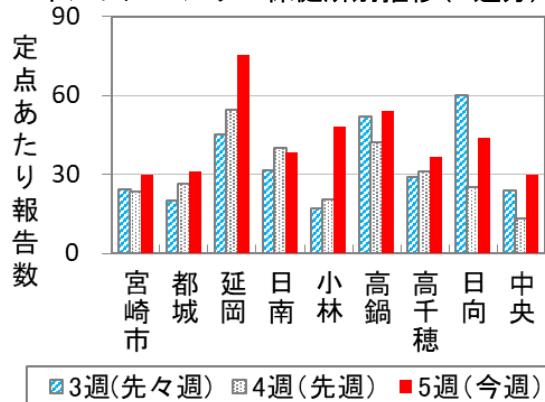
□ 県内第5週インフルエンザ発生動向

1月26日～2月1日までの1週間では1,122人(40.1)の報告があった。前週比136%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(47.1)の約0.9倍であった。

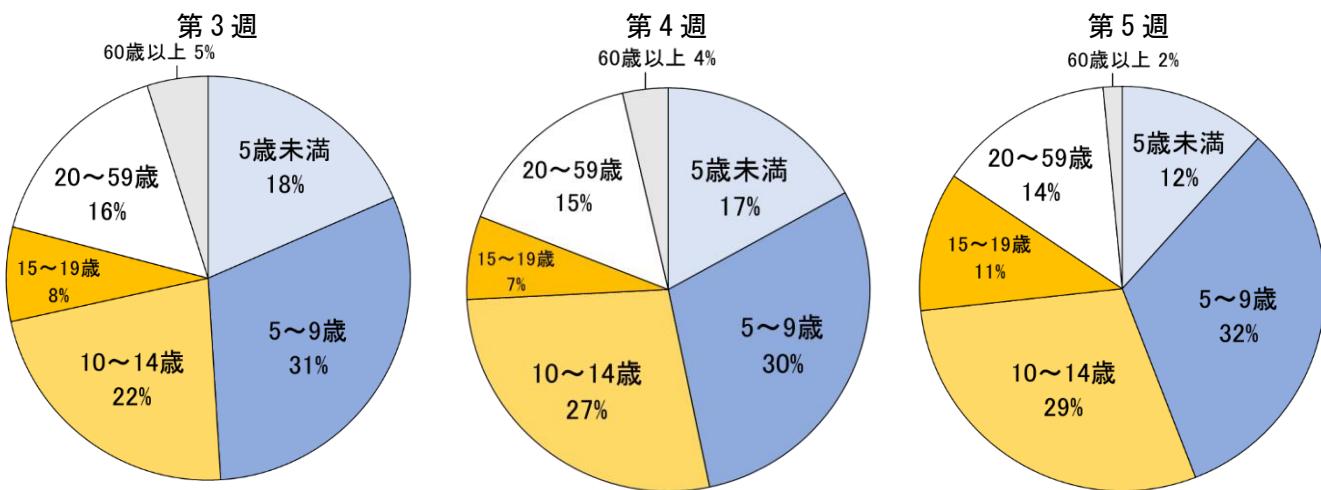
* 新型コロナウイルス感染症流行前5年間(2015～2019)の当該週、前週、後週(計15週)の平均値



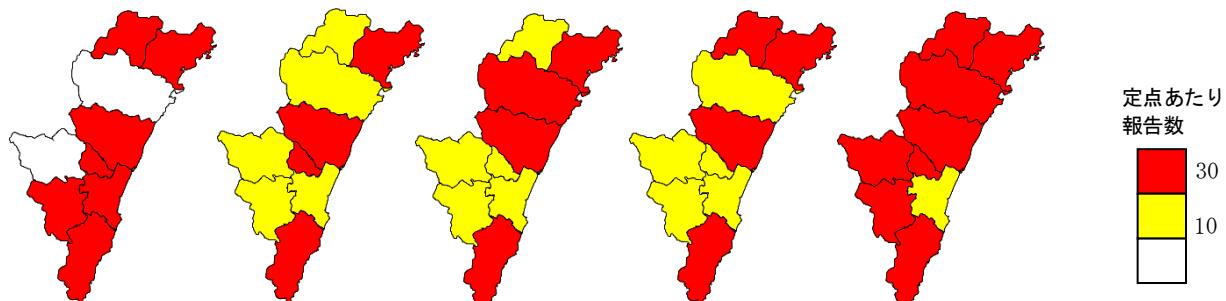
インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



インフルエンザ 年齢群別グラフ



保健所別インフルエンザ流行レベルマップ 2026年第1週～2026年第5週



□ 全国第4週インフルエンザ発生動向

1月19日～1月25日までの1週間で63,326人(16.6)の報告があった。前週比147%と増加した。鹿児島県(35.2)、宮崎県(29.4)、大分県(28.9)からの報告が多くかった。年齢群別では5歳未満が全体の13%、5～9歳が31%、10～14歳が29%、15～19歳が10%、20～59歳が15%、60歳以上が2%であった。